

SSH 通信アンケート結果

(1) 今までの SSH 活動ベスト 3 (ベスト 1～3 に記入されたイベントの総合計で比較)

	イベント名	ポイント
第 1 位	10/27(木) 科学リテラシー研修	230
第 2 位	7/20(水) 留学生によるプレゼン講座	91
第 3 位	9/28(水) 科学リテラシー講座	87

(2) 寄せられた感想・要望に SSH 主任が答えます。

<ためになった>

☆⑦岡本先生の科学論文講座は本当に面白く、ためになったと思います。

☆⑫第 2 回統計学演習のように自分たちで簡単な活用を行うのは良い経験となりました。実用性を感じられたのでよかったです。

☆課題研究は、時間がとてもかかるけれど、やっていて面白いと思う。

☆講演会はどれも勉強になるものばかりで良いと思う。

☆SSH 活動を通して今まで深く考えたことのない分野を新たに知ることがあって良かった。

☆SSH 活動の中には難しい事が多くありました。難しいながらも積極的に取り組めたので良かったです。

☆SSH でやることは普段体験できないことが多く、ためになっていいと思います。楽しく活動できているので今後の活動もしっかりしていきたいです。

☆PDCA サイクルや表計算ソフトの使い方を、実践を通じて学ぶことができ、ためになった。

☆普通には体験できないことを体験できるのはとてもいいと思います。積極的に頑張りたいと思います。

☆理系を目指しているので将来的に役に立ちそうなことをいろいろ学べたのがよかった。

☆理系になかなか興味をもてない私ですが、これらの活動自体はとても興味深く、真剣に取り組めたと思います。

SSH 主任：うれしいです。

<文系の生徒に配慮を>

☆文系にもう少し興味もてる企画を実施してほしい。科学と文系要素を組み合わせるなど科学リテラシー研修にも文系的な場所を入れてほしい。

☆文系にはあまり面白くなかった。古典や社会、法に関する実験、講義はないのですか？

☆ディベートをもっと積極的にやりたいです。

☆博物館や図書館と連携して課題を集めたいです。

☆自然科学に限らずいろんな分野の中から自分の興味を持ったものを研究して論文を書く機会があってほしい。

SSH 主任：われわれも理科だけが科学ではないことは理解しています。科学(サイエンス)には自然を扱う自然科学以外にも、社会科学、人文科学など多くの分野がありますよね。皆さんのそうした興味に応えられるように、来年度のやり方を考えていきたいと思っています。

<負担が大きすぎる>

☆SSH で忙しい(テストと重なる)時が多いので活動の頻度を減らしてほしい。希望制にしてもらいたい。

☆課題研究やディベートの実験の時間や調べる時間を授業でとってほしい。科学リテラシー研修のまとめを暇な時間にやれっていうのは大変だった。

☆面白いが、SSH の時間をとられすぎるのはよくないと思う。

☆最近、高高一年の成績が低下気味なこと。前高生に負け気味なこと。僕らの根本的な学力が一番の理由だろうが、一つの理由にはこのSSHがあると思う。課題研究のために費やしたあの一日、夢ナビにつぶれたあのテスト前日、これらがなければ少なくとも今よりは良い結果のはずだ。別に無駄だとは思っていない。その道に進む人からしたらとても有益な時間だと思う。そして僕たち文系にも得るものはあると思う。しかし、課題を出す時期とタイミングと量によって、平常の学習が妨げられているのは事実であると思う。

SSH主任：今回の高高一 SSH の目玉は、1年生全員がSSH活動に参加することです。これは全国的にみても誇れることです。昨年までの先輩たちと比べて課題が多くなったのは事実だと思いますが、SSHだからこそできた体験もたくさんあるはずです。私たちも初めてのSSHなのでみなさんの生活まで配慮しきれなかったところもあったことは反省しています。みなさんにとってテスト前の時期は確かに大切ですね。今後改善していきたいと思います。

☆課題をなくしてほしい。

SSH主任：無理だと思います。

☆提出期限などを明確に貼り出したりしてほしい。

SSH主任：ごもっとも。今後そういった方向で課題を出させていただきます。

<配布資料について>

☆SSH関係の用紙が多すぎて混乱した。バインダーにも収まっていないのでもう少しコンパクトにお願いしたい。

SSH主任：ごもっとも。来年度は資料の精選をし、シンプル(S)・スマート(S)・ハンディ(H)を目指します。SSHだけに。

<実験の時間について>

☆課題研究の実験の時間を授業でもっととってほしい。

☆SSHの研究時間が少ない。かといって部活の時間を削ってまでは行いたくない。

☆実験を行う時間がもっと欲しい。

☆実験ができる機会をもっと増やして欲しい。

SSH主任：その通りですね。実験はそもそも膨大な時間がかかるもの。ちょっと無理な計画でしたね。すみません。この経験は来年度に生かしたいと思います。

<報告会について>

☆⑮科学リテラシー報告会のとき、発表が1時間もなくて全班が発表するには大変だったり、評価シートを書いていると、発表を聴くのに集中できなかつたりしたので、65分授業のときにしてほしい。

☆研修1日と、パワーポイントを作った1時間分を、3分で終わらせるのは難しいし、他の班のものも、よく聴きたかった。持ち時間を増やすべきだ。

SSH主任：がってん承知しました。

<研究の形態について>

☆SSH希望者以外でも個人研究をしたい。

SSH主任：より良い形を検討中です。

※その他多数の意見がありましたが、すべてをあげることができませんでした。ここにあげられていない意見についても学校としてできる限り検討していきたいと思います。今年度の1年生は高高一SSH元年を経験したパイオニアです。SSH事業そのものが壮大な実験です。これからも貴重な意見をお願いします。

論文作成に向けて

課題研究はそれなりの成果が出たでしょうか？論文の一次締切は**1月10日(火)**だ。完全でなくてもいいので期日を守ってとりあえずパソコン室のパソコンにデジタルで入力しよう(論文作成の詳細は別紙参照)。

<SSH通信編集担当：山寺・小久保>